



# ひなどい

## 【教育目標】

なかよく せいっぱい  
遊ぶ子ども

第2号

令和6年5月8日  
新潟市立新津第三幼稚園だより



## 「なかよく せいっぱい 遊ぶ」

園長 大矢 晃子

子どもたちは、新しい生活に慣れ、自分のやりたいことに取り組む様子が見られています。朝、玄関前で子どもたちを迎えていると、自分から「おはようございます！」と元気に挨拶ができる子どもが増えてきました。門から園の玄関までの道を、お家の人と、手をつないで登園してくる子どもたちは、いつも嬉しそうでこちらまで笑顔になります。このひとときは、小学校に行ってからではできない、とても貴重な時間です。この園だからこそできる素敵な時間、大事にしていきたいですね。

さて、新津第三幼稚園の教育目標は「なかよく せいっぱい遊ぶ子ども」です。そして、目指す子どもの姿として、「自分の思いを表しながら、友達と豊かにかかわる子」としました。

園の生活は、子どものやりたいことが存分にできること、心動かされることが子どもたちのまわりにあること、そして、何より、自分の居場所があって安心できること、を大切にしています。もちろん、子どもたちが「楽しい！」「面白い！」と感じる場が、幼稚園であることが大事です。そして、自分で思わずやってみたくなることに出会うことがあります。



先日、3歳児たんぽぽ組の保育室に行った時のことです。私のスカートに結んである紐を見た男の子が「ね、自分でリボン結べるん？」と聞いてきました。リボン結びができるか、と聞きたいと思ったのでしょうか。「できるよ、〇〇くんはできる？」「できないけど、できるようにになりたい！」と嬉しそうに答えていました。子どもは自分で育つ力があります。もちろん、最初からできないこともあります。やってみたい、できるようにになりたい、と思った時がチャンスになるかもしれません。このような小さな思いを大事に、自分で育つ力を丁寧に支えていきたいと思えます。



一日の保育が終わった後、職員室ではその日の遊びや子どもの様子などが話題になります。子どもたちのよい姿はみんなで喜び、気になることは知恵を出し合って、一人一人を大切に丁寧な保育で、「なかよく せいっぱい遊ぶ」子どもを目指していきます。

## 園庭には、「ワクワク」がいっぱい！



手作りの「こいのぼり」を手に、年中さんが園庭に出ると、年少さんが、興味深々です。



園庭の草花を集めて、ごちそう作りです。年長さんの様子を見にきた年中さんは、やってみたくまりました。



どうしたら、きれいな花の色が出るか、友達と比べたり、やり方を聞いたりして試しています。

園の子どもたちは、園庭や遊戯室で、異年齢のかかわりが、自然に生まれて、かかわる様子があります。クラスの友達だけでなく、いろいろな友達と過ごす時間も大切にしていきたいと思えます。



## 3歳児の給食が始まりました

3歳児の給食が始まりました。園は西部給食センターからおいしい給食が届きます。給食開始の初日に、栄養教諭の方から来園していただき、給食講演会と試食会を行いました。



安心・安全な給食を作ってください給食センターの皆様感謝しながら、給食をいただきたいと思えます。

## 幼稚園の畑に、ジャガイモを植えました



年長組と年中組が畑にジャガイモを植えました。種イモを半分にすると、「なんかおいしそうな匂いがするね。」と、気づきながら、畑の土にそっと植えていました。



「大きくなあれ～」

## 幼稚園は楽しいよ！



5月から年少たんぼぼ組に、満3歳のお友達が入園します。4月から入園してきたお友達も、園の生活に慣れて、嬉しそうに遊ぶ様子が見られています。